

あなたは ごぞんじですか！



75歳以上の医療費窓口負担が 2倍になることを!!

75歳以上の医療費年間負担額平均 8万円(1割)→16万円(2割)

85歳以上の医療費年間負担額平均 9万円(1割)→18万円(2割)

日本人の年間医療費平均 (日本医師会資料より)



= 神奈川県では
34万人も =

6月4日、自公政権は75歳以上の医療費窓口負担を現行の1割→2割へ倍増させる法案を自民、公明、維新、国民民主党の賛成多数で可決しました。(立憲民主、共産党が反対しました) 2割負担の対象となるのは、年収200万円以上の単身者、夫婦ともに75歳以上で年収320万円の世帯で、神奈川県では約34万人(30%)、横浜市で約14万人が見込まれています。(厚生・共済年金受給者はほとんど該当する)

= 現役世代の
負担軽減は月額30円 =

政府は、「現役世代の負担上昇を抑える」ためと強調するが、現役世代が負担する後期高齢者支援金の軽減は1人当たり年間約350円です。

現在40歳の方が75歳までに軽減される金額は約12,250円です。

現役世代の負担軽減とは名ばかりで、世代間の分断をもくろんでいます

= 受診抑制で国の支出を
抑えることが狙い =

高齢者の年収に占める医療費窓口負担の割合は、85歳以上は60歳代前半の2倍に上ります。75歳以上の医療費は現行の1割負担でも年間平均8万円です。2割負担になれば単純計算で倍の支出となります。高齢者の負担が倍増し「通園回数を減らす」「薬の飲み方を自分で調整する」など約3割の方が何らかの受診抑制を考えています。政府試算では75歳医療給付費は2,190億円(2025年度)減り、このうち「受診控え」によって1,050億円が減ると見込んでいます。

～減るのは国の医療給付費だけ～

= 国会の審議なしで
対象者が拡大される =

政府は2割負担の対象は単身世帯で「年収200万以上」夫婦世帯で「年収320万円」と言われているが、法案には書かれていません。それは、法令で定められているからです。今後は国会の決議を必要としない政令で定めることになります。今後無制限に拡大できるということです。



命が軽んじられている!!



75歳以上医療費窓口負担 2倍化を中止させよう



=食事を削るしか...
お年寄りの悲鳴=

高齢者世帯の7割が公的年金のみで生活しています。公的年金は毎年減らされ、厳しさが増えています。窓口負担が2割となれば高齢者の受診控えに追い打ちをかけ、さらに重症化を招くことになりかねません。日本高齢期運動連絡会のアンケート調査の中間報告では、2割負担になれば、受診を控えると回答した方が30%にのぼります。「生活費は1日1000円以下、負担が上がれば通院も入院もできない」「食費を減らすしかない」などの声が出されています。

=あきらめないで
中止にできます=
実施予定は来年の10月からです

法案が国会を通過したからと諦める必要はありません。来年の参議院選挙で2割負担に反対する議員を多数国会に送り出すことです。

**医療費窓口負担2割化に
反対する署名にご協力下さい。**

私たちに寄せられた署名は、毎月県内選出の国会議員に届けています。

**あなたの怒りを
署名に託して下さい!**

病院が遠くなる



現在1割負担の方に、2割負担になったらどうするか、お聞きしました。

私たちが実施したアンケートでは、約3割の方が受診を考えると回答されています。

窓口2割負担は、間違いなく受診控えを生み出し、病気の重症化を招きます。



75歳以上の医療費2倍化に
反対する神奈川県実行委員会
<事務局団体>

神奈川県保険医協会

神奈川県民主医療機関連合会

全日本年金者組合神奈川県本部

神奈川県高齢期運動連絡会

神奈川県社会保障推進協議会

連絡先：神奈川県社会保障推進協議会

電話 045-201-3900

住所 横浜市中区桜木町 3-9

横浜平和と労働会館 6F